

「ふくきたる」は年内に保温すると1月に収穫できる

福島県農業総合センター 作物園芸部野菜科

1 部門名

野菜—アスパラガス—作型・栽培型

2 担当者

新野美佐子

3 要旨

既存品種より萌芽が早い特性がある県オリジナル品種「ふくきたる」は、12月中旬に外張りと内カーテンにより保温を開始すると1月上旬からの収穫が可能で、従来のハウス半促成栽培より出荷時期を約2ヶ月前進化できる。

- (1) 早期保温区の収穫開始日は1月3日、収穫終了日は1月18日となり、収穫期間15日で収量約30kg/a(半促成栽培2年生株における既存品種の春どり目標収量)に達する(表1)。
- (2) 早期保温区の規格内収量は慣行保温区と同等である(図1)。
- (3) 慣行保温区の収穫が終了する3月9日までの間に早期保温区の最低気温が -2.3°C まで低下した日もあるが、収穫若茎や立茎後の親茎に凍害などの被害は認められない(表2)。

表1 各管理日、収穫開始日および収穫終了日

区名	茎葉刈取日	保温開始日	収穫開始日 ^z	収穫終了日 ^y
早期保温	12月15日	12月17日	1月3日	1月18日
慣行保温	1月12日	2月12日	2月24日	3月8日

^z供試株数の3割が収穫に達した日とした

^ya当たり収量が早期保温区は29.8kg、慣行保温区は29.4kgに達した日。収穫終了後、立茎を開始した。

表2 時期別ハウス内気温($^{\circ}\text{C}$)

区名	保温開始から収穫終了		立茎開始後50日間 ^z
	最高(平均)	最低(極値)	最低(極値)
早期保温	21.7	-1.4	-2.3
慣行保温	27.9	-1.8	—

^z1月19日～3月9日

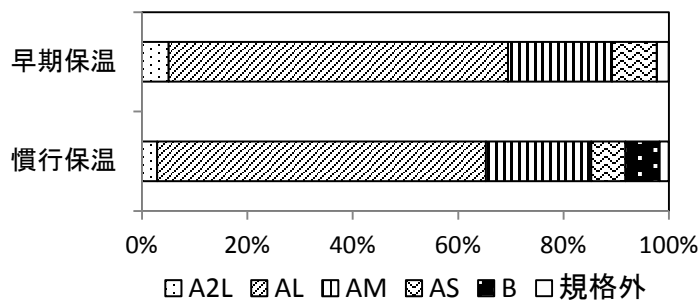


図1 収穫若茎の規格別割合

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度
- (2) 研究課題名 アスパラガス「ふくきたる」の栽培技術の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

福島県農業総合センター研究報告第7号(平成26年度)